

進路ニュース

平成25年11月29日

鳥取県立白兔養護学校

進路担当

平成25年度 第6号

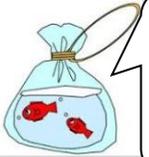
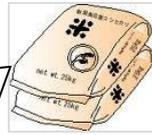
白兔まつりでは、各模擬店等でいきいきと活動するお子様の姿を見ていただきありがとうございました。お子様からの「感謝の倍返し」が届いたことと思います。さて、今回の進路ニュースでは、高等部1・2年生（10/10～10/23）の産業現場等における実習の取り組みや障がい者合同面接会についてお知らせします。

高等部1年産業現場等における実習

高等部に入学して初めての産業現場等における実習を行いました。ほとんど行ったこともない慣れない職場で、一日5～6時間、9日間（台風のため、例年より1日少ない日数となりました。）連続して働きました。不安を持ちながらのスタートでしたが、ほとんどの生徒が休むことなく働き続けることができました。きっと、大きな自信になったことと思います。報告会でも、一人一人が実習前とは見違えるほど堂々とした態度で、してきたことや学んできたこと、そして、今後の課題を発表しました。その姿を見ていて、本当に嬉しくなりました。

さて、報告会の最後には、それぞれの実習の様子を写真で見合い、「つづく・・・。」と締めくくりました。2年生の実習へと続くのはもちろんですが、そのことを伝えたかったのではありません。そうです。これからの日々の学校生活に続くのです。学んできたことを、ぜひ、日々の学校生活で実践してほしいと思っています。

（文責 中谷 一朗）

<p>かめの会</p>  <ul style="list-style-type: none">・タオルたたみ・新聞ちぎり・金魚袋の紐通し・らっきょう洗い	<p>のぞみハウス</p> <ul style="list-style-type: none">・シール貼り (菓子袋)・クッキーづくり (型どり) 	<p>ふなおか作業所</p>  <ul style="list-style-type: none">・箱の仕切り折り・スプーンの袋詰め・パンフレットの袋詰め
<p>夢ハウス</p> <ul style="list-style-type: none">・パソコン業務 (文章入力)・名刺作り) 	<p>幸町フリーダム作業所</p> <ul style="list-style-type: none">・バネはずし <p>細かい仕事を集中してがんばりました。</p> 	<p>いわつばめ福祉作業所</p> <ul style="list-style-type: none">・箱折り・シール貼り・米の選別・段ボール集め 

障がい者合同面接会

10月17日（木）白兔会館を会場に障がい者合同面接会が行われました。本校からは、企業就労をめざす高等部3年生6名の生徒が参加しました。面接会に向けて、校長先生をはじめ、いろいろな先生方と話す、聞く、礼などの立ち居ふるまいの練習を重ねました。それぞれの課題と向き合い努力をしました。また、受ける企業の志望動機や自分の長所等も友だちや先生と考え、自分の進路に対する気持ちを明確にしてきました。当日は、20以上の企業がブースを構え、希望者が並んで待つという一般的な合同面接会と同じ手法で行われました。「緊張したけど話せました。」「質問が難しかったです。」「練習みたいにできました。」などいろいろ感想を持ちました。熱気にあふれる会場で、緊張をしながらも懸命に伝え、真剣に面接と向き合おうとする生徒の意気込みを感じた面接会でした。

（文責 安藤 恵）

高等部2年産業現場等における実習

台風の為、急きょ実習初日が一日延期となり開始した実習ですが、大きな混乱もなく10日間の実習を終えることができました。それぞれの生徒が目標を明確にして実習に臨むことで、実習期間中に成長が見られ、事業所との反省会で生徒の頑張りを評価していただく場面が多くありました。しかし、中には「時間が守れない」「声が小さい」「仕事としては働けていない」等、厳しい評価を受けることもありました。ここで大切なことは、今の自分と社会に出た際の“ものさし”を知ることです。頑張りや成長は小さなことも見逃さず共に喜ぶことで自信がついていきます。同時に、できていないと指摘されたことをマイナスと捉えず、働いたり集団で活動をしたりはどんな力を付けていったらよいか、それに気づくためのアドバイスと捉え、次への一步に繋げてほしいと思います。

(文責 谷口良子)

<p>株式会社 串惣</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・肉きり ・串刺し <p>スピードが要求されました。</p>	<p>えがお株式会社</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・とうがらしの収穫等 <p>畑での作業が多かったです。</p>	<p>智頭町総合給食センター</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・食材の皮むき等の調理補助 <p>体力のいる仕事でした。</p>
<p>ユタカ自動車株式会社</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・お客様の車の洗車作業、車内清掃等 	<p>喫茶レインボウ</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・注文取り ・接客 <p>立ち仕事でした。気配りが要求されました。</p>	<p>ナンバ鳥取店</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・商品補充、前出し ・商品の植物の水やり

<高3生進路決定に向けてラストスパート！>

今までにも何度も進路について話し合いを進めてきましたが、高等部3年生にとっては、これからが大切な時期になってきます。毎年、高等部3年生は10月末から11月にかけて、卒業後の進路の方向性を生徒、保護者、学校で最終確認します。「どこの作業所に通うのか」「1週間のうちデイサービスをどのように組み合わせて利用するのか」「どのような職種の会社で働きたいのか」等を具体的に話し合います。この時点で進路先が決まっている生徒もいますが、なかなか決まらない生徒もいます。「一般就労をめざしていたが、支援の受けられるA型に進路変更したい。」「希望職種の求人が無い」「〇〇の生活介護を希望するが、空きが無いので他のところも試してみたい。」等理由は様々です。

そこで、進路決定をするために「実習」を行います。特別支援学校の生徒にとって「実習」は「就職活動」と考えることもできます。事業所や企業に「この生徒はどれくらい働けるのか、うちの仕事に対応できるのか」「コミュニケーションはどれくらいとれるのか」等を判断していただき、生徒にとっては「自分のやりたい仕事なのか、できる仕事なのか」「希望する収入なのか」「毎日の通勤は問題ないのか」等を考える機会となります。事業所側が望む人材と、生徒のニーズがマッチすると「就職決定」となります。

(文責 進路指導主事 山根孝子)